

いまどきの火葬場つて

マイナスのイメージを脱して 人生の最後を見送る施設として

市内には3カ所の火葬場があります。お亡くなりになられた市民のみなさんはこの3カ所の火葬場と、飛騨市にある2カ所の火葬場にて火葬されます。

市では、老朽化する火葬場に対応するため、火葬場整備計画の検討を行っています。どこに、どのような機能を持った火葬場を建設するのか市民のみなさんと一緒に考えていきます。

大切な人へ 思いを馳せる場として

みなさんは火葬場と聞いてどのようなイメージを抱きますか？高い煙突、暗い、怖いなどマイナスのイメージをお持ちではありませんか。

戦後、建設が進められた火葬場はたしかに、高い煙突と暗く寂しい、死者に関わる施設というあまり近づきたくないイメージだったのかもしれませんが、しかし、新しく建設されて

いる現在の火葬場の多くは、景観に配慮され一見して火葬場とはわからないデザインや、高木に囲まれ自然の中にひっそりとたたずむ施設であったり、内部についても、シテ

イホテルを思わせるような待合ロビーや、厳格な式を行うのにふさわしい内装など、昔のイメージとは少し違った印象を持つ建物が建設されています。

右上は高山市営火葬場の写真です。昭和28年に西洞町に建設したこの火葬場は、炉の内部修繕などを定期的に行い、57年もの間、大切に使用している施設です。今、市では、この火葬場に替わる新しい火葬場の建設計画を検討しています。

建設にあたっては、どのような機能を持つ施設をどこに建設するかを考えなくてはなりません。それには、建設される施設はどのようなものか、市民のみなさんにも理解して

いただく必要があります。

左の写真は平成7年に建設された高山市営久々野火葬場です。

現在の火葬場はこの施設のように無煙、無臭の火葬炉を

備え、施設内も落ち着いた内装となっています。告別室、炉前ホール、収骨室、待合室をそれぞれ配置し、人生最後のセレモニーを厳かに送るための施設となっています。



告別室



待合室